

事務事業名		診療所運営事業		所属部	健康福祉部	所属課	掛合診療所
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G		課長名	福間 克巳
	施策名	(20)地域医療の充実		担当者名	伊原 稔	電話番号	0854-62-0135 (内線) 4580
	目的:対象	市民	意図	安心して医療機関を利用できる。	予算科目	070502 大事業名 総務管理事業	
	目的:対象	市民	意図	かかりつけ医を持つ。自宅での治療を受けることができる。		050501 中事業名 総務管理事業	
基本事業名	(058)かかりつけ医制度の普及と在宅医療の推進						

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 診療科:内科、整形外科、歯科 雲南市国民健康保険、他市町村国民健康保険、協会けんぽ等の被保険者及び被扶養者に対し、保険診療や健康診断、健康相談を行っている。また、介護保険による居宅管理指導や訪問看護も行っている。その他、学校医(掛合中学校)、産業医、嘱託医(えがおの里)の委託を受けている。 医療機器の老朽化に伴い、上部内視鏡システム、超音波診断装置を更新した。 電子カルテ用パソコンもXPから、Windows7に更新をした。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	26年度実績(26年度に行った主な活動) 内科診療、整形外科診療 歯科診療 訪問診療、訪問看護 医療機器の老朽化に伴い、上部内視鏡システム、超音波診断装置の機器の更新を行う。 ウィンドウズXPのサポート終了に伴い、電子カルテ用パソコン2台の更新、(受付・医師用)	27年度計画(27年度に計画する主な活動) 内科診療、整形外科診療 歯科診療 訪問診療、訪問看護 医療機器の老朽化に伴い、歯科ユニットの更新を行う。 昨年更新を行った超音波診断装置の追加機器の導入を行う。			
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	ア 内科・整形外科収入	千円	48,352	47,119	46,259	47,254
	イ 歯科収入	千円	24,263	26,901	22,371	21,611
	ウ 訪問看護等収入	千円	2,451	1,109	205	690
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	市民(主に掛合町民) 医療の必要がある場合、他地域でも受診可能	ア 掛合町民	人	3,272	3,221	3,140	3,060
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	健康管理及び健康増進	ア 健康診断受診者数	人	65	72	98	120
		イ 歯周疾患検診受診者数	人	12	15	12	15
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
・報酬、賃金、報償費、旅費7,399千円 ・需用費 8,286千円 ・役務費 6,727千円 ・委託料 5,645千円 ・使用料及び賃借料 830千円 ・備品購入費 16,669千円 ・負担金 318千円 ・償還金 2,272千円 ・公課費 7千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円	38,206	51,613	48,153	38,810
	一般財源	千円				
	事業費計(A)	千円	38,206	51,613	48,153	38,810
	人件	人	7	7	7	
	正規職員従事人数	時間	18,726	18,926	18,317	
	延べ業務時間	千円	73,367	73,679	71,216	
	人件費計(B)	千円	111,573	125,292	119,369	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
診療報酬改定により患者の医療費負担は軽減されてきたが、医療機関においては収入減の要因になっている。カルテの電子化により、「受付」→「診察」→「会計」の流れがスムーズに行えるようになった。掛合町内で運行する「だんだんタクシー」の導入により、交通手段の少ない高齢者等でも定期的な通院が可能になった。	・平成23年度より院外処方実施 ・平成23年10月より整形外科診療開始	かかりつけ医として住民から頼りにされており、また交通手段が限定される住民や高齢者からも存続および充実が望まれている。

事務事業名	診療所運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	掛合診療所
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	平成23年10月からは整形外科診療を開始しており、現在の診療業務以上のサービス等を行うのは難しいが、患者様が気持ちよく利用できるような環境づくり等で出来ることに取り組んでいる。デジタルX線装置を導入により診療時間の短縮や検査効率のアップなどが図られ医師や患者の負担軽減につながっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	交通手段が限定される住民や高齢者等は、他医療機関への受診が困難。医療が必要でも受けられない人が増加する可能性がある。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段)		病院との連携 診療所で処置などできない患者を他の病院へ紹介し病院や類似事業名) から退院後の患者を通院等での診療
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	理由		地域医療・へき地診療を行うにおいては、統廃合は難しい。ただし、病院と連携して地域医療の充実を図る。現在市立病院より松井医師による整形外科診療を行ったり、歯科医師が市立病院へ行き診療を行ったりしている。
<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない				
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	23年度から院外処方を実施し、薬に係る経費を削減。また環境マネジメントや職員の意識向上を図っている。医療の提供に必要なものに関しては、購入、維持管理を行っていかねばならない。充実した医療提供のため効率的に業務を進める必要がある。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	23年度から院外処方を実施したことにより人件費が削減された。(正職員1名減)業務委託については、医療機関であるため受託先の確保が困難と考える。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	交通手段が限定される高齢者等でも、だんだんタクシーで受診出来るようにしている。また波多地区については週1回の出張診療がある。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
医療機関が少ないため無医地区にならないよう公的関与により医療を充実していかなければならない。一医療機関として事業運営するよりも市直営の医療機関として各部署との連携を図ることが出来れば、より良い医療の提供が出来るかと考えるが、通常の診療業務以上にサービスを行うことは人員的にも予算的にも難しい。				

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携																		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																		
医療の提供に関しては、大きく内容を変更することは困難なため基本的には現状維持だが、平成23年10月からは整形外科診療を開始している。今後も雲南市役所各部署(健康福祉部・市民環境部)や国保との連携による事業向上を図っていく。事務費等については削減に努めているが、予算削減等もあり難しいところまできている。																					
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					